

解 答

問 1

1. a 2. b 3. b 4. a 5. a

問 2

2. ストーンヘンジでは、同時期に栄えた縄文文化との興味深い共通点を示す日本の品々約 80 点が展示されている。
3. 日本とイギリスの先史時代の人々は、石の円環を造り、太陽の動きを意識し、祭りや儀式のために集まっていたという共通点があった。
4. 日本とイギリスの先史時代の人々には、想像以上に多くの共通点があり、両者を比較することでストーンヘンジへの理解が深まる。
5. 日本の大湯環状列石は、ストーンヘンジと同時期に造られ、形は異なるものの、どちらも夏至や冬至を示すように配置されていたと考えられている。
6. 展示の目玉である縄文土器は、信濃川近くの縄文時代の住居で実際に調理に使われていたことが分かり、今回初めて日本国外で展示された。
7. 日本とイギリスの人々は、ともに祭宴や祖先を敬う行事のために集まり、大規模な建造物を協力して造っていた。
8. イギリスと日本はほぼ同じ緯度にあり、気候や天然資源が似ていることが、両地域の共通点に関係している可能性がある。
9. 一方、展示品の中には、キノコやクマをかたどったもの、繊細な装飾品、数字を表すと思われる穴の開いた品など、日本でしか見つかっていないものもある。
10. 縄文時代の集落や環状列石から出土した土偶は、豊穡や治癒を願う儀式に使われ、その際に意図的に壊されたと考えられている。

問 3

1. ○ 2. ○ 3. × 4. × 5. ×
6. × 7. × 8. ○ 9. × 10. ○